受付番号:　20260126

『ダビンチSPサージカルシステムを用いた経膀胱ロボット支援根治的前立腺全摘除術の初期経験に関する観察研究』に関するご協力のお願い

研究の目的と意義	当院では 2024 年 10 月に単孔式手術支援ロボット、ダビンチ SP サージカルシステム（SP）を導入しました。SP を用いた前立腺癌の手術のひとつに、おなかの中（腹腔：ふくくう）を通らずに、下腹部の小さなキズから膀胱の中に入って前立腺を摘出する方法があります。これを経膀胱アプローチと呼びます。 この方法は、おなかの中や前立腺の前方の組織にふれずに手術ができるため、術後の回復が早く、尿もれの回復も早いと報告されています。しかし、これまでの報告はほとんどが海外の一つの施設からのもので、日本国内からの報告はありません。そこで当院で行ったこの手術について、安全に実施できたか、手術の成績はどうであったかを調べる研究です。
研究の方法	電子カルテ内の情報、手術記録、病理検査の結果、手術時に記録した写真や動画から情報を取得します。手術後の経過については、通常の外来診療で得られる情報を引き続き確認させていただきます。本研究のために新たな検査や通院をお願いすることはありません。取得した情報は個人が特定できないように加工して取り扱います。
対象者	西暦2026年03月01日～2026年07月31日の間に、前立腺癌の診断でダビンチSPサージカルシステムを用いた経膀胱アプローチによるロボット支援根治的前立腺全摘術を受けた患者さん。
利用する試料/情報	情報等：年齢、身長・体重、既往歴、血液検査の結果、画像検査の結果、手術に関する記録、病理検査の結果、手術後の経過に関する記録、手術時に記録した写真および動画等になります。
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録、手術記録、病理報告書、手術時に記録した写真および動画になります。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院　院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし。
結果公表	学術雑誌への論文投稿および学術集会での発表を予定しています。
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日になります。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合、または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年11月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院　泌尿器科 / センター長 / 石田 勝
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院　泌尿器科 / 石田 勝